

栄光園だより
第110号

2018年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

児童福祉はどこを目指すのか

児童養護施設 江口敏一

大戦後の戦災孤児救済のために児童福祉法が制定されました。この法は戦後社会の劇的な変化、特に、地域社会の変化や家庭の変化に伴い、たびたび改正されてきました。その後、国連での子どもの権利条約を1994年に批准したと、また、近年の児童虐待増加への対応から2016年児童福祉法が大幅に改正されました。

今回改正の主眼は、児童が権利の主体であること、児童は家庭において健やかに養育されるように育てられること、それが困難、または不適切な場合は、パーマネンシー(永続的)養子縁組や代替養育として「家庭における養育環境と同等」である里親(家庭養育優先原則)等委託を進める。これが適当でない場合、「良好な家庭的環境」の小規模グループケアのような児童養護施設で養育されるようにとのことです。

このことを端的に言えば、未来の社会を担う子どもの養育を本来の家庭にゆだねることが厳しく、社会化する必要性が生じてきたのです。それほど家庭の機能が劇的に変化し、家庭での養育が困難になり、子どもが大切にされなくなりつつあるとの認識の現われでもあります。戦後の児童福祉法の制定から、連綿と続く法の改正は、社会現象の変化のあり様に、予防的視点が見えず、対処療法的な取り組みのようにも見えます。

私たちの社会は、どこを目指すのか、福祉の意味「しあわせ」をどのように実現しようとしているのか。その中で、戦前の家制度はどこが欠陥で、どのように改善すべきであったのか。戦後70年以上にわたって子育てについての家庭形成・社会体制の構築について議論が十分なされたとは思えないのです。今回の改正で議論の焦点となっている里親につい

あけまして
おめでとうございませう

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。

本年も相変わりました。ご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2018年 正月

- 社会福祉法人 栄光園 理事長 江口 敏一
- 児童養護施設 栄光園 施設長 江口 敏一
- 乳児院 栄光園 施設長 熊谷登喜子
- 青山保育所 所長 原田 康子
- 野口保育所 所長 本庄 智宏
- 職員一同

ても、子育て里親のあるべき姿が明確になり、里子が安心して生活できる状況となることを切に望みます。

争いのない平和な社会で子どもは育つべきであると思いますが、その構築をどのように進めていくのでしょうか。国民の意識は社会の価値観に大きく左右されるのですが、社会のあり様は、意識改革も含め、教育によらねばならないのではないのでしょうか。国家百年の計の基礎は教育だとの認識が広く必要ではないでしょうか。江戸時代が穏やかな社会であったこと、今の小学校の数を超えた寺小屋が存在したことは無縁とは思えないのです。

幸せな社会の構築には、福祉と教育が支えあわねば実現しないのです。幼稚園

と保育所の統合においても、お互いの省庁が自分の権利を主張するのみで、自分が必要なべき義務の認識がなさすぎたのではないのでしょうか。

政治・行政・一般企業などの社会のあり様との中で働く親を含め大人の生活を見ていか子どもは育ちません。

社会が経済原理で動いていることは否定できませんが、そのために、国民の権利がおろそかにされてはなりません。よしんば、権利が保障されて育った子どもが社会人になった時、誰がどのようにしてその子の権利を保障してくれるのか卒園生の行く末が気になる社会でもあります。

それとも権利は勝ち取るものであると教えないならいけないのでしょうか。

児童養護施設

キャサリンホーム



保育士 神野 怜央

「より手厚く」

キャサリンホームは、男児6名(中学生1名、小学生5名)が生活しており、子ども一人ひとりの特性や個性を活かした支援に取り組んでいます。

例として、身辺整理が苦手な子どもに対し、視覚的な働きかけとして気をつけることや片付けのポイントを文字に起こし居室に掲示する。また衣類を片付ける際にはタンスではなく一着ずつハンガーに通しラックに掛けていく等の環境設定を行っています。その中で、一つひとつの物を大切にすることを育みながら生活のしやすさを実感できるよう、身辺整理をするための大切さを日々伝えていきたいと思っています。

その他にも課題は多く、支援については様々な工夫や根気が必要です。医療機関、児童相談所、学校等『他機関との連携』を密にし、より手厚く子ども一人ひとりに適した支援方法を模索しています。常に子どもの将来をイメージすることを忘れず、その子のための支援をしていきたいと考えています。

ウエストホーム



保育士 萩尾 裕樹

「自立に向けた環境造り」

ウエストホームでは高校生4名、中学生3名の男児が生活しています。今年3月卒園を迎える高校3年生1名は昨年無事に就職試験を終え、内定を頂きました。4月から社会人の仲間入りをする本児にとって社会に出る不安は大きく、戸惑いを感じることが多々あると思います。これまで自立に向けて経験してきた一人暮らし体験やアルバイト、周りからの支援を糧にすると共に、不安なことは一人で抱え込まず、家族に相談したりウエストホーム職員、栄光園を頼り気軽に足を運んで欲しいと思います。

卒園まで残り少ない期間ですが、高校生活を謳歌すると共に、社会人になるという心構えを持てるよう、有意義な時間を過ごしてもらいたいです。

4月から自立し、社会の一員として働いていくわけですが、これまでの経験やたくさんの方の応援を忘れず、これからの長い人生前向きに胸を張って歩んでもらいたいと考えています。今後もウエストホームが温かい生活の場として子どもたちの居場所となるよう、養育を初め環境作りに取り組んでまいります。



ムラカミホーム



児童指導員 横大路 明子

「よりどころ」

ムラカミホームは、幼児から高校生までが生活する計6名の女児が生活するホームです。

今年3月高校生1名は卒園を迎えます。私は高校生の担当をさせていただいているのですが、生まれた時から栄光園で生活を続けてきた子どもにとって、卒園の不安は計り知れないものがあることを痛感する日々です。思春期でもあり不安を言葉にできないプライド、もどかしさや苛立ち、反面まだまだ幼児のように甘えたい気持ちを、表情や言葉の端々に感じます。抱っここの時期ではないので、さりげなく肩や背に触れてスキンシップを取ることや、自立に繋がるさまざまな応援を1つでも多くできるように努めています。具体的な応援はホーム職員のみならず、栄光園の職業指導員、学校の先生方、児童相談所、家族と共に密に連携しています。特に今は性教育、SNSの危険についての学習、お金の使い方、長期休暇を利用して一人暮らしの体験、調理、小さなアルバイトなど、体験や学習を支援しています。今後、本児のみならず、ムラカミホームが「家」として、子どもの心が踏ん張ることのできるより所となるよう、今年度もあたたかみのある養育に取り組んでまいります。

マツモトホーム



児童指導員 都甲 春菜

「連携しながら」

マツモトホームは、幼児から中学生までの女児5名が生活しているホームです。私は、中学生の担当をさせていただいています。私は4月に就職し、個人支援に携わること自体が初めてで、戸惑ってばかりでした。しかし、ホーム職員や以前の担当者、専門職からのアドバイスを受けながら、その子にとって、今必要なことは何か、どう支援していけば自立につながるのかと日々試行錯誤しながら支援しています。また、思春期ならではの苛立ちや甘えが出る際に、子どもと一対一の時間をもち、子どもの気持ちを受け止められるような時間を作るなどしています。また、このような支援は栄光園だけではなく、学校や児童相談所など様々な機関と連携しながら取り組んでいます。

今後も、子どもたちの自立に繋がる支援を施設職員、各機関と連携しながら続けていきたいと思っています。

オゴウホーム



児童指導員 直野 弥呼

「社会に出る準備」

人とコミュニケーションをとることが苦手な気持ちも不安定になりやすく、

気分が浮き沈みが激しい、そんな高校生の女の子が担当しています。社交不安という障がいを持っており、周りの目や声などにとっても敏感で、自分から積極的に人と関わりをもとうとはしません。些細なことでもふさぎ込みがちになるため、抗不安薬や抗精神病薬を服薬しています。薬に関しては一歩間違えれば事故に繋がりが兼ねないため、職員間で徹底して薬の管理を行っています。

また、正しいことや間違っていることの判断を自分なりに考えようと努力する姿はありますが、納得いかないことも多くあるようで担当職員に不安や苛立ちをぶつけてきます。そのような時は、私自身も無理をせず一度彼女と距離を置き、他の職員に現状を伝えサポートをしてもらいます。ホーム職員同士で情報を共有し、状況によっては他の職員に間に入ってもらう聞き取りや話をするなど連携した対応を行っています。

現在高校1年生である彼女は2年後に卒園を控えています。社会に出るにあたって彼女に必要なことは、人とコミュニケーションをとること、諦めずに最後までやり遂げること、金銭管理を学ぶことだと考えています。分からないところは自分なりに調べて聞くという力は持っているのですが、その備わっている力を崩さず、職員間でも声掛けや連携を大事に少しずつ社会に出る準備を行ってきたいと思っています。

ホーム長 藤本 一明

「2018年の取り組み」

明けましておめでとうございませう。地域小規模ノマチホームも今回で2回目の正月を迎えました。冬季休暇中は家族のところへ一時帰宅をした児童や、職員とホームの中でおせち料理を食べ、初詣に出かけた児童などそれぞれに年末年始を過ごしました。元旦にお年玉をもらい、嬉しそうに買い物に出かける姿もあり、この長期休暇を満喫したようです。

昨年も多くの方々に支えていただき、感謝ばかりの1年間でした。高校進学をして新たな生活がスタートした児童や、受験生の仲間入りをした児童もあり、気を引き締めることもたくさんありました。

さて、2018年も気持ちを新たにスタートし、当ホームでは今年の3月に高校受験を控えている児童が2名います。新年度4月からは新たに受験生になる中学生が1名おられます。また、高校3年生になる児童もおり進路選択の時期が近づいてきています。進学を予定しており、夢を実現するため自分自身と向き合っていかなければならない大切な時期に差し掛かります。

今年も支援者の方々のおかげでたくさん多々あるとは思いますが、これを読んでいらっしやる方々に、ますますのご健勝とご多幸があることをお祈りしております。

本年もよろしくお願ひ致します。

聖書の言葉

「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された」(ルカ2:52)

評議員 (別府不老町教会牧師)

ルカによる福音書2章52節

齋藤 真行

「愛を通して学ぶ子ども」

大人は、「ルール」の世界に生きています。時間のルール、仕事のルール、人間関係のルールなど、非常に多くのルールに従うことで、社会を運営しています。

子どもは逆に、ルールがまったくわかりません。お店に行けば、買っていない商品で遊ぼうとします。静けさが求められる場所でも叫びます。道路に急に飛び出したりします。

こうした姿に接すると、大人は強い焦りをもって「この子にルールを教えないではならない」と考えます。だから、「これはしてはいけないこと」、「これは近づかないこと」など、ルールを一生懸命教えます。子どもは、そのルールが定められた意味や理由がよくわからないため、従わないことも多いです。なんとかルールを教えようとする大人と、それが飲み込めない子どもの葛藤があります。

大人は、焦りや不安、子どもがルールを破ることへの恐れを感じるため、ルールがわかっていない子どもを叱ります。子どもはなぜ自分が怒られているのかさえ、よくわからないことがほとんどです。

子どもにルールや知識を教えると

き、最も大切な前提があります。それは、子どもは大人から自分が愛されていると感じるとき、たとえ意味がわからなくても、大人の愛に応えようとしてルールや知識を受けとめようとしてます。つまり、「愛」が子どもへの「かけ橋」となることで、その橋を通って大人から子どもに知識やルールが伝達されるのです。愛と信頼の関係が、教育の前提なのです。この関係がない状態で知識やルールを伝えようとしても、子どもは嫌がるだけです。愛の包装紙に包んでこそ、知識は伝わるのです。

聖書には、イエス・キリストの成長の過程についてほとんど記されています。右に引用した小さな聖句があります。「神と人に愛されること」、「知恵が増す」、「背丈が伸びる」ことが、セットになって記されているのです。これは、「知恵の成長」、「身体の成長」の大前提が、「神と人に愛される」ことであることを、聖書が示していると言えます。私たちは子どもに知識と身体の成長を求めるあまり、そのために必要な大前提を忘れてしまうことがあるのではないのでしょうか。「愛」を通して、子どもは学ぶ存在であることを、心に刻みたいと思います。

ノマチホーム



乳児院

あけましておめでとございませう。

乳児院の子どもたちは全員、元気にお正月を迎えることができました。

今年も子どもたちの笑顔があふれるよう、職員一同頑張つていきます

おいもがいっぱい

6月に苗植えをしたサツマイモ。毎日葉っぱの成長具合を見ていました。

そして秋、そろそろ掘り頃ということで、子どもたちといも掘り。職員が子どもの手をとり、土を掘ると、中からサツマイモが出てきて、「わあ〜」と驚く子や何が出てきたんだろうとおそろおそろ触る子など様々でした。乳児院の子どもにピッタリのかわいらしいサイズのサツマイモでしたが、初めての挑戦にしては、なかなかの出来ばえでした。

後日、園庭で焼き芋にし、ホカホカのおいもをみんなでフーフーしながら食べました。

今度は、もつとたくさんできるといいな。



お巡りさんありがとう

栄光園の隣にある山の手交番に、ぞう組の子どもたちが遊びに行きました。挨拶をしてパトカーを見せてもらおうと、大はしゃぎでパトカーにタッチ。お巡りさんに抱っこをしてもらった時は、びっくりに抱っこ嬉しかったよ。

これからも、乳児院のぼくたちを見守ってもらふことと、また遊びに来ると約束して乳児院に帰りました。

地域のお巡りさんと知り合いになり、心強い子どもたちでした。

クリスマス祝会



今年のクリスマス祝会は、「エビカニクス」というダンスをしました。日頃から曲をかけると思わず身体が動いてしまうほど、大好きなダンスだったので、子どもたちは練習の時から張り切っていました。

当日はいつもの練習と違う雰囲気になり、ビックリしながらも、誰一人泣かずに最後まで踊ることができ、おうちの方や大勢のお客さんの温かい拍手とたくさんのお菓子を目の前にしてとても嬉し

そうでした。

日頃から支援してくださっている方々に、乳児院のこどもの成長を見ていただくことができ、良かったです。



初詣に出かけたよ

新年を迎え神様に「今年も見守っていてください」とお願いをしに行きました。にぎりしめた硬貨を賽銭箱に入れてお参りし、もらったばかりのお年玉でお守りを買ったり、参道の出店にちよっと寄ったりしました。

今年も良い一年になりそうです。



青山保育所

デイキャンプ、楽しかったよ



紅葉の美しい11月に、湯布院の山荘「四季」に5歳児のお友だちとそのお家の方と一緒にきました。現地の施設内のトトロの部屋やクララの部屋に子どもたちは大興奮!!「みてー! トトロ」「ベッドがある!」と言って友だちと一緒にベッドに入る姿も見られ、子どもたちにとっては居心地の良い場所になっている様子でした。また、きれいな紅葉の葉を見つけて髪に飾ったり、沢では大きな石を動かし、サワガニを見つけたりと、美しい自然の中だからこそできる貴重な体験をすることができました。食事の準備では、子どもたちは薪拾いを、お父さんたちは薪割りや火おこしを、お母さんたちは食材を切る等みんなでご飯作りをしました。かまどで炊いたご飯、



大鍋で作った豚汁はとてもおいしく、子どもたちも大自然の中で食べる昼食は格別だったようで、もりもりお腹いっぱい食べていました。残り火を使いデザー トでマシュマロ焼きも体験し、大満足の子どもたちでした。

しかし、その後待っていたのはききだめし!!人形劇を見ている最中にさらわれた保育士とお父さんを助けに行く11人の子どもたちでしたが、怖くてなかなか「おぼけの部屋」に入れずいたり、中に入ったものの思わず出てきてしまったりと様々でした。それでも勇気を振り絞って何とか全員ミッションをクリアし、お父さんたちと保育士の救出に成功しました。今回のデイキャンプの思い出が親子にとって大切な宝物になるように願っています。

不審者対応避難訓練 がありました



別府警察署の協力により不審者対応避難訓練をしました。警察官の方々が来園し、子どもたちに不審者に出会った時の対応を歌とダンスで教えてくれました!とても覚えやすい曲とダンスで、翌

日も「いか〜の おすし♪」と皆で踊って盛り上がった子どもたちでした!避難訓練の前に、警察官の方が携帯している持ち物の一つ一つを見せてくれ、手錠を見せてもらった時に「かっこいい!かあちゃんに買ってもらおう!!」となんと可愛らしい発言もありました!最後に皆パトカーに乗せてもらい大喜びでした。給食の時に「大きくなったら警察官になりたい人?」と質問すると半分以上の子どもたちが「はい!!」と答えていました!

お餅、おいしかったね

牛乳パックで作った白とペットボトルで作った杵、お餅に見立てた小麦粉粘土を使って練習をしながらお餅つきの日を楽しみに待っていた子どもたち。当日は、エプロンと三角巾に身を包み元気に参加することができました。本物の杵は少し重かったのですが、2歳児のお友達の中には1人で持って頑張ってお餅



をつく姿も見られました。つきあがったお餅は「あんこ餅・きなこ餅・酢餅・砂糖醤油餅・お雑煮」にして食べました。「ああ、おなかいっぱい!!」と子どもたちも満足そうでした。有志のおじいちゃん、おばあちゃんにもちつきをお手伝いしていただいたり、一緒に給食を食べたりして、交流を図ることもできました。これからも子どもたちに伝統的な行事を伝えていきたいと思っています。

サンタさんからの プレゼント



待ちに待ったクリスマス会に参加しました!子どもたちは朝から「パーティー楽しみ!」とウキウキな様子!自分だけの手作り三角帽子を被ってクリスマス会のスタートです。保育士手作りのクリスマスツリーの由来の大型紙芝居「クリスマスおめでとう」を見ました。それから、クリスマスにちなみだきりん組さんの歌や手遊び、ぞう組1年生による合奏や2年生の「ノントンのクリスマス」のペープサートも楽しそうに見ていました。すると、テラスの方から「シャンシャンシャン・・・」と鈴の音が聞こえてきて保育士が扉を開けてみると・・・なんと大きな白い袋と手紙が置いてありました。子どもたちも「サンタさんだ!」とプレゼントに大興奮でした。

催し物が終わるとお待ちかねのバイキング形式のクリスマスランチ、子どもたちは大好きなメニューを目の前に、どれを食べようかなと迷いながらも上手に自分のお皿へ取り分けていました。サンタさんに絵本のプレゼントをもらい、美味しいランチもたくさん食べて、楽しいクリスマス会になったのではないのでしょうか。

保育環境と 玩具の講習会

11月に保育環境アドバイザーの上杉千恵子先生をお招きして職員研修を行いました。今回は、おもちゃや遊びコーナーの環境づくりを中心に講義していただきました。子どもたちが主体的な遊びを十分に楽しむために、遊ぶ時間、遊びの空間の確保、質の高いおもちゃを選び、提供してあげる事が我々保育士に課せられた事です。現在どのようになれば遊びに夢中になれる空間作りができるかを考え、保育士が協力して保育室の模様替えをしたり、日課の見直しをしたりしているところです。試行錯誤を繰り返しながら、子どもたちにとってよりよい保育環境を提供できるようにしていきたいと思っています。



野口保育所

明けましておめでとうございます。
 本年もよろしくお願い致します。
 昨年の秋から冬にかけての行事を、少しですがご紹介したいと思います。

運動会

場所と天気によって変更などはありましたが、今年度は栄光園のグラウンドにて運動会を行いました。大きいクラスは栄光園グラウンドまで歩き、広いグラウンドで楽しく練習する事が出来ました。当日は台風が多い季節だったので天候が心配ではありましたが、子どもたちは元気に最後まで張り切っていました。たくさんのお拍手に嬉しそうな表情を見せる子どもたちに、またひとつ経験を積み成長しているな・・・と実感させられました。小さいクラスの子どもたちも沢山のおうちの方の前で涙する事もありましたが、保育士と一緒に体操したり走ったり、見ているお家の方からもたくさんのお拍手をいただきました。また、今回栄光園グラウンドでの運動会で乳児院のお友達や地域のお子さんにもプログラムに参加してもらいとても楽しい運動会になりました。子どもたちの頑張ったたくましい姿や保護者の方のご協力に



も感謝し、無事大きな行事の運動会が終える事ができました。

芋ほり遠足



食育の一環として6月に3・4・5歳児と一緒に農業文化公園にて芋の苗植えをしてから4ヶ月・・・。

親子や友達と一緒に大型バスに乗って芋ほりに行く予定でしたが、天候により運動会延期と重なり、今回は大きいクラスの子どもたちのみで芋ほりに行きました。当日は大きいバスにも大興奮の子どもたちでした。

保育園で待っている小さいクラスのお友達や先生の方・おうちの人の分もみんなで力をたくさん出して、いっぱい掘るぞ!!と気合をいれ手や顔を真っ黒にしながら楽しんでいました。今年は大きなお芋も多く、量も豊作で掘りごたえがありました。その後は公園で遊んだりお弁当を食べたりと天気にも恵まれ楽しい1日になりました。来年度は親子で行けると良いなと思います。

保育参観

今年度の参観日第2回目でした。自分だけではなくお友達のおうちの方が毎日入れ替わりくる事を楽しみにして1週間テンションが上がりっぱなしの子どもたちです。保護者の方は来る日を保育内容で選ぶこともでき、一緒に散歩に参加する日もあったり一緒に制作をしたりと日頃の子どもの様子が見れて楽しい事が出来たようです。お仕事で忙しい保護者の方に保育園でどのようにわが子が過ごしているのかを少しでも見てもらえるのが一番うれしいです。

もちつき

毎年恒例の「餅つき」今年もお父さんが手伝いに来てくれました。大きいクラスの子どもは前日にもち米をといで準備をしたり、当日は衛生面に十分に気を付けながらお友達やお父さん達とお餅を搗いたり、「べったんこべったんこ〜」とお餅を搗きましょ〜べったんこ〜と歌ったり応援したり大忙しでした。

お餅をたくさんまるめたり食べた



クリスマス会

り、昔ながらの伝統ある餅つきを子ども達と経験する事が出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。



子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！ 保育室や廊下・窓に飾られたクリスマス一色の雰囲気子どもたちは毎日ルンルンな様子でした。会では、保育士のハンドベルや楽器演奏、また保育士と5歳児によるマジックショーなど毎年違ったクリスマス会に子どもたちは、次は何をするのかな?と目を輝かせていました。全クラスが集まってシャンメリーで乾杯の予定でしたが、インフルエンザの流行の為出来なかつたので各クラスでクリスマスランチを食べました。美味しいクリスマスランチや3時のクリスマスケーキを堪能したクリスマス会でした。

今年度も残り少なくなり1年を締めくくる行事がまだまだ控えています。子ども一人ひとりとしっかり触れ合い、子ども達が毎日楽しく過ごせるように職員全員で頑張っていきたいと思えます。

本年もよろしく申し上げます。

所長 本庄 智宏

職員一同



文化の違いを通じての学び ～ドイツの児童養護施設での研修生活～ 保育士 有永 奈津美

昨秋より、ドイツの聖ヨゼフ児童養護施設と栄光園、両施設のサポーターを受けての研修生活が始まり、早いもので3か月が経ちました。文化の違いはもちろんなこと、法律や制度、子どもを取り巻く環境の違いを多々感じることも多く、日々勉強させられているところです。今回は、この3か月間で一番大きな文化の違いを体験することの出来た、「クリスマス・年末年始の過ごし方」について、ご紹介させていただきますと思います。



クリスマスといえば、近年の日本でもイルミネーションの煌びやかさや多種多様なクリスマスケーキなど、海外諸国に負けないくらいの文化の一つとなつています。しかし、国民の約60%以上がキリスト教徒といわれるドイツは、クリスマスを単なるイベントとして捉えるのではなく、イエス様の誕生を祝う日、家族を大切にする日、という意識が強く、その全てに驚かされるばかりでした。

3日間とされています。この3日間は学校や会社はもちろんなこと、市内のお店や飲食店までもが休業あるいは短時間営業となるのです。とはいえ、11月の最終週より国内各地で「クリスマスマーケット(ドイツ語でWeihnachtsmarkt)」と呼ばれるお祭りが開催され、12月23日のクリスマス前日まで一気に町中がクリスマスの雰囲気へと変わっていきます。このクリスマスマーケットはドイツが発祥の地とされており、近隣諸国(ベルギーやオランダなど)からわざわざ観光で来る人々もいるほど、

有名なドイツの冬の風物詩です。

また、クリスマスといえは忘れてはいけないのが、サンタクロースの存在ですよね。もちろんドイツの子どもたちも楽しみにしているものの一つです。しかしドイツでは「サンタクロース」ではなく、「Nicolaus(ニコラウス)」と呼ばれて親しまれています。このニコラウスとは、サンタクロースの起源とされる人物で、小アジアのローマ帝国リキュール属州(現トルコ)で生まれ、3世紀から4世紀にかけて存在したキリスト教の司教であり、生前教区に住む貧しい家庭に深夜窓からこっそり金貨を投げ入れ、その金貨が偶然にも申し



であった靴下に入り、その金貨のおかげで貧しい家庭の娘は身売りをせずに済んだ、という逸話の持ち主です。そのため、ドイツでは「聖ニコラウスの日」とされる12月6日もお祝いの日とされているのです。

そして日本では大人から子どもへクリスマスプレゼントを贈るのが主流ですが、ドイツでは家族同士でプレゼントを贈るのが習慣とされており、その数も一つではなく、多くのプレゼントが贈られます。もちろん聖ヨゼフ児童養護施設の子どもたちもクリスマスに多くのプレゼントをもらっています。その数に圧倒されたのは勿論のこと、プレゼントの贈り主にも驚かされました。なんと全てが寄付であり、その寄付の方法も企業をはじめとする地域住民からだというのです。まさに、社会全体で子どもを大切にすることを考え方が浸透しているが故に出来ることなのだろうと感じました。



家族で教会に出掛けたのですが、そこでもキリスト教文化を感じる光景がありました。教会には老若男女の大勢の人々が来ており、礼拝終了後の出入り口は多くの人で賑わっており、互いに「Fröhliche Weihnachten(メリクリスマス)」と声を掛け合い、抱擁や握手を交わし、まさに皆でイエス様の誕生を祝うといった光景でした。教会終了後には家族で食卓を囲み、プレゼント交換をし、大切な日を家族で過ごすということが家族形成の大事な瞬間のように感じることがありました。

また、年末年始の過ごし方も日本とは大きく違い、年越しそばやおせちなどといった決まった食事はなく、家族と過ごすというよりは友人や近しい人と過ごし、新しい年の幕開けは盛大に街中で花火を上げ、新年を迎えるといった様子でした。(花火の賑やかさに私は思わず圧倒されてしまいました。)

このように、日本とは違う文化体験のなかでも、私は、家族で過ごす時間を大切にすることや、信じるものを通じて自分自身を大切に出来ることを学んだように感じます。

研修期間も残り3か月となりましたが、最後までしっかりと研修に励み、文化の違いから見える児童福祉・社会福祉を学びたいと思います。

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の見聞に大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

児童養護施設の子どもの進学等を重点的に支援する目的で始めた「自立進学資金(栄光園ファミリークラブ)」の枠は上級学校への進学により社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。ご協力よろしくお願いたします。

新しい年も皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお願いいたしております。

【2017年10月1日より2017年12月31日まで】

賛助金

- 足達健一様 別府市
- 安達祥子様 別府市
- 安部保様 大分市
- 安部伸子様 大分市
- 安部道人様 別府市
- 伊勢方信様 大分市
- 岩切義和様 大分市
- 宇戸美和子様 京都府
- 大澤伸子様 大分市
- 加藤敏夫・千佳様 竹田市
- 木村洋子様 大分市
- 河野聡美様 別府市
- 後藤商店様 大分市
- 貞閑孝也様 大分市
- 高木今朝美様 別府市
- 高木政嗣様 別府市
- 立花巨子様 大分市
- 匿名様 中津市
- 匿名様 西宮市
- 日本基督教団北九州復興教会様 北九州市
- 長谷川士郎様 別府市

一般寄付

平野八郎・紀美代様
福田美代子様
帆足和生様
舛田泰義様
増田百枝様
松本常圃様
三浦喜美子様
宮本妙子様
矢永尚土様
山口産業様

別府市
大分市
別府市
別府市
日田市
別府市
大分市
別府市
別府市
別府市

飯田法子様
石渡恵美様
伊東哲也様
伊東浩司様
井上せつ子様
猪股通安様
岩田哲也様
大分銀行労働組合様
大宮遊技場組合様
小野重達様
龜井浩様
神鳥慶子様
佐藤充弘様
三光建設工業様
南光物産様
日本競輪選手会大分支部様
別府教会様
別府不老町教会様
別府市溝部学園短期大学様
松本重孝様
みらいしんきん同友会様
(株)秋吉タタミ店様
(株)工房輪葉葉様

佐伯市
別府市
大分市
別府市
大分市
別府市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市
大分市

自立進学資金

安東英典様
岡口文明様
神鳥慶子様
匿名様
波多野郁子様
南範子様

大分市
愛知県
別府市
別府市
別府市
別府市
大分市

特別物品寄付

みかん・大根阿野篤日本花の会事務局局長様
パン
クリスマスケーキ
パン
石窯パン工房モコモコ別府店様
電子ピアノ・人形・ボール等石渡恵美様
肉まん
板井由香様
お菓子・餅 ヴィーナスギャラリィ別府様
早生ミカン
上杉敬三様
三ヶ日みかん
上野真一様
雪だるま

(株)安部製菓様
安部純子様
(株)純子製菓様
(株)石窯モコモコ
(株)電子ピアノ
(株)肉まん
(株)お菓子・餅

米
大分県農業共済組合様
餅・カボス・紫芋等
大津留亀寿様
Tシャツ オキユホOK kyuhoh様
クリスマスケーキ
梶原様
生花
亀川浩様
児童衣類
川野美香子様
毛布・タオルケット
川野八二様
小学校唱歌CD
川村武志様
衣類・ぬいぐるみ・自転車等岸岡英樹様
衣類・サツカー用品
北野芳江様
衣類
木原実様
七五三写真
木村写真館様
九九ドラえもんCD
木本直美様
図書・芋・じゃがいも
九州ろうきん様
鉛筆・クリスマスプレゼント
釘倉英子様
図書券
工藤智美様
米
県社協様
カレンダー
甲原英江様
衣類
ジャックデッドワイラー様
衣類
城まり様
ガーゼタオル
白沢史子様
リンゴ・ハム
杉町圭蔵・千穂子様
シヤンメリー全国シヤンメリー共同組合様
みかん
(株)そのだ様
児童衣類
(株)第一物産様
お菓子
ダイヤモンドやまなみ店様
衣類
高瀬可奈様
クリスマスシヨコラ(株)TN保険ひろば様
クリスマス
高瀬可奈様
クッキー

米
大分県農業共済組合様
餅・カボス・紫芋等
大津留亀寿様
Tシャツ オキユホOK kyuhoh様
クリスマスケーキ
梶原様
生花
亀川浩様
児童衣類
川野美香子様
毛布・タオルケット
川野八二様
小学校唱歌CD
川村武志様
衣類・ぬいぐるみ・自転車等岸岡英樹様
衣類・サツカー用品
北野芳江様
衣類
木原実様
七五三写真
木村写真館様
九九ドラえもんCD
木本直美様
図書・芋・じゃがいも
九州ろうきん様
鉛筆・クリスマスプレゼント
釘倉英子様
図書券
工藤智美様
米
県社協様
カレンダー
甲原英江様
衣類
ジャックデッドワイラー様
衣類
城まり様
ガーゼタオル
白沢史子様
リンゴ・ハム
杉町圭蔵・千穂子様
シヤンメリー全国シヤンメリー共同組合様
みかん
(株)そのだ様
児童衣類
(株)第一物産様
お菓子
ダイヤモンドやまなみ店様
衣類
高瀬可奈様
クリスマスシヨコラ(株)TN保険ひろば様
クリスマス
高瀬可奈様
クッキー

葉子
匿名様
衣類
匿名様
米・野菜
匿名様

Dyck Timothy David様
(株)東海レジャーキャロル様
匿名様
匿名様
匿名様

招待・奉仕

芋
(株)豊田緑化様
洗剤・文具・衣類
中村里子様
衣類
中村耕吉様
菓子・梨
中山田正春様
ニューヨークチーズケーキ
南光物産様
西日本畜産(株)渡邊郁様
みかん・梨
二宮篤様
南島・みかん
二宮洋典(株)九州錦運輸様
鏡餅セット
日本鏡餅組合様
お菓子
日本競輪選手会大分支部様
タオル
波多野民子様
カレンダー
花本公恵様
(株)一粒社ヴォーリブズ様
菓子
日吉智美様
DVD
(株)プレナスほっともと様
図書券
kへアー様
食事券
別府市観光協会様
菓子・みかん
別府中央ライオネスクラブ様
事務用品
松永康人様
シクラメン・乾物
本林愛嗣様
シクラメン・ケーキ
矢内優樹様
菓子・ケーキ
山口香様
柿
山本宜雄様
服・バック・靴
山本真吾・初美様
お菓子
(株)ユコーコ中村雄二様
衣類
吉岡恵利子様
サツカーボール・文具等
(株)楽天サンタプロジェクト様
餅米
陸上自衛隊別府駐屯地様
サンマ
渡辺貞夫様

小中学習ボランティア
安東秀典・井上せつ子・木本直美様
七五三の着付け
エッチ美容室様
七五三の写真
木村写真場様
クリスマスイルミネーション灯饰
(株)大分観光サービス様
ピアノレッスン
奥山 靖子様
児童の散髪
kへアー様
クリスマス祝会演奏
白沢史子大分チェロ軍団様

ギター演奏
Dyck Timothy David様
葡萄狩り招待
葡萄園・ぶどうの丘様
賛美歌独唱
フナキ・カイツウ様

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

あけましておめでとございませう。
二年の計は元日にありを思い起こし、来し方を振り返り、行く末に希望を見出したいと願います。社会的養育の必要な児童に対する国の方針が大きく変わった児童福祉法に対する審議会の方針が、全国の乳児院、児童養護施設の大きな話題となった昨年。それに沿った都道府県の実施計画が2018年度に出され、居宅も含めた全児童を対象にした養育支援策が示されることになりました。この方針に沿って里親中心の施策が実施されることになり、基本的には乳児院は保育機能よりも一時保護機能と母子支援機能を中心となり、全国136ある乳児院では閉鎖予定の施設もでてきました。栄光園の乳児院は、大分県唯一であるため妊娠・出産後の赤ちゃん、保護者の受け皿として大いに期待されております。
(敏)